

形成外科

1. 構成

診療部門 形成外科

a. 体制 …当該年度の特徴・スタッフ等

スタッフ：

部長：鈴木 義久

京都大学医学博士

日本形成外科学会 形成外科領域専門医

日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科分野指導医

日本創傷外科学会 認定専門医

日本レーザー医学会 レーザー専門医

京都大学医学部臨床教授

神戸大学医学部臨床教授

副部長：石川 奈美子

京都大学医学博士

日本形成外科学会 形成外科領域専門医

日本形成外科学会 分野指導医（皮膚腫瘍外科 小児形成外科 レーザー 再建・マイクロサージャリー）

日本創傷外科学会 認定専門医

日本抗加齢医学会 認定専門医

再生医療学会 再生医療認定医

下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会 認定下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医

副部長：武田 孝輔

京都府立医科大学 医学博士

日本形成外科学会 形成外科領域専門医

日本形成外科学会 皮膚腫瘍外科分野指導医

日本形成外科学会 小児形成外科分野指導医

日本創傷外科学会 認定専門医

日本義肢装具学会 認定義肢装具等適合判定医師資格

下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会 認定下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医

日本頭蓋顎顔面外科学会 認定専門医

医員：武田 紘司

日本形成外科学会 形成外科領域専門医

梶川 珠未 専攻医

外来の診療体制は前年度と同様であり、手術日も変更はありません。診療方針としては、原則としてガイドラインに準拠した診療を基本とし、標準化された治療を行うよう努めています。

特徴：繊細な縫合と皮膚の操作技術により最小限の手術痕となるよう努力しています。

- 乳癌術後の組織欠損

乳腺外科医と協力し人工物（シリコンインプラント）や自家組織（自家脂肪組織移植、広背筋、腹直筋、遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁）による再建術を行っています。また、他院にて乳癌切除手術を受けられた患者さんの2次再建手術も行っています。

- リンパ浮腫

術前にリンパ管の状態を診断し、保存的加療と並行して手術加療も行っています。リンパ管を細い静脈に吻合する手術（リンパ管細静脈吻合術）、血管柄付きリンパ節移植等をマイクロサージェリーの技術を用いて行っております。術中 ICG 蛍光観察用光源装置を備えた顕微鏡でリンパ管を造影し確認することで正確にリンパ管と細静脈を縫合しています。

- 顔面神経麻痺

静的再建や動的再建を行っています。また、兎眼により生じる角膜知覚障害に対し隔膜知覚再建も行っています。角膜知覚再建術を行っている数少ない施設の1つです。

- 外傷

- 手足の腱や神経断裂、軟部組織損傷、涙小管断裂、熱傷など幅広い疾患に対し対応しています。
- 顔面骨骨折

頬骨骨折、眼窩底骨折、鼻骨骨折、下顎骨骨折、Le Fort 骨折等複合型骨折など顔面外傷全般にわたる治療を行なっています。また、陳旧性顔面骨骨折に対する治療も行っております。

- 難治性潰瘍（糖尿病性下肢皮膚潰瘍、ASO による下肢皮膚潰瘍、褥瘡）

まず保存的治療を行います。治癒が困難な場合切断術を行っているが、持続陰圧療法（VAC）治療を併用し、なるべく組織を残す方向で手術を行っています。すべての治療に抵抗性の場合には、適応を検討した上で再生医療第3種である自己多血小板血漿（Platelet-Rich Plasma: PRP）による治療を行っています。

- 皮膚腫瘍良性腫瘍

必要に応じ拡大鏡（ダーモスコープ）による皮膚の検査を行い、手術もしくは炭酸ガスレーザーによる蒸散を行い傷跡が最小限になるような治療をしています。

- 悪性腫瘍

腫瘍生検し悪性と診断された場合にはガイドラインにのっとり治療を行なっています。腫瘍が大きく腫瘍切除による組織欠損範囲が広い場合には局所もしくは遊離皮弁による再建術を行っています。

- 瘢痕拘縮、ケロイド

まず保存的加療を行い、治療抵抗性であれば手術も検討し再発の可能性が高い症例には電子線照射も行います。

保存的加療にはステロイドのテープ貼布、ステロイド注射があります。

● 下肢静脈瘤

超音波エコーで静脈瘤の状態を検査した後大伏在静脈ストリッピング手術や高周波焼灼手術を行なっております。また、潰瘍や下腿の皮膚の色素沈着、浮腫を伴う重症の静脈機能不全に対し内視鏡下不全穿通枝結紮術を行なっています。また、細かい血管の浮き出しに対してはレーザー照射を行っています。皮膚の硬化やむくみ、潰瘍を生じた下肢静脈瘤に内視鏡を用いた筋膜下不全穿通枝切離術 (SEPS) を行っている数少ない施設の1つです。病変のある皮膚に切開を加えず健常な皮膚から筋膜下層に内視鏡を挿入し潰瘍の原因となっている不全穿通枝 (深部静脈と皮膚に近い部分にある表在静脈を結ぶ細い静脈) を切離しますので新たな潰瘍の発生や創部の治癒遅延を避けることができます。

● 小児の日帰り全身麻酔手術を行っています。

● 乳児血管腫やスタージウエーバー症候群などの血管病変に対するロングパルス色素レーザー (V ビーム) 照射を保険診療にて行っています。

● 先天性疾患の手術加療を行っています。

- 唇顎口蓋裂
- 眼瞼下垂症
- 耳介変形：小耳症、折れ耳
- 先天性耳漏孔
- 四肢の疾患：多指症、合指症、多趾症、合趾症

● 加齢性眼瞼下垂症

弛緩性眼瞼下垂症に対し挙筋前転術や余剰皮膚切除術を行なっています。

● 美容外来でアンチエイジング治療、ホクロやシミに対するレーザー治療や男性の髭を含む脱毛レーザー治療を行っています。

b. 診療実績 …臨床統計(手術件数、検査件数)・研究等

手術件数

形成外科 新患者数： 189 名 / 形成外科 入院患者数： 1446 名

| | 入院 | 外来 | 計 |
|--------------------------|-----|-----|-----|
| 全身麻酔での手技数 | 139 | 5 | 144 |
| 腰麻・伝達麻酔での手技数 | | 1 | 1 |
| 局所麻酔・その他での手技数 | 71 | 579 | 650 |
| 入院または全身麻酔の手技数計： | | | |
| 外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他の手技数計： | | | |
| 合計係数： | | | |

| 疾患大分類手技数 | 入院 | | | 外来 | | | 計 |
|--------------|------|---------|----------|------|---------|----------|-----|
| | 全身麻酔 | 腰麻・伝達麻酔 | 局所麻酔・その他 | 全身麻酔 | 腰麻・伝達麻酔 | 局所麻酔・その他 | |
| 外傷 | 29 | | 12 | | | 4 | 45 |
| 先天異常 | 17 | | | | | 1 | 18 |
| 腫瘍 | 43 | | 16 | 1 | | 221 | 281 |
| 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド | 2 | | 2 | | | 14 | 18 |
| 難治性潰瘍 | 16 | | 15 | | 1 | 3 | 35 |
| 炎症・変性疾患 | 29 | | 13 | 4 | | 23 | 69 |
| 美容（手術） | | | | | | | |
| その他 | | | 10 | | | 18 | 28 |
| Extra レーザー治療 | 3 | | 3 | | | 295 | 301 |

c. 研究実績

【学会】

- 鈴木義久 自家骨髄細胞を脳脊髄液内へ投与する脊髄損傷治療法の医師主導型臨床試験 第31回日本形成外科学会基礎学術集会 2022/10/13-10/14（岡山）
- 石川奈美子 下肢リンパ浮腫患者の生体電気インピーダンス法をもちいた客観的病態評価について 第65回日本形成外科学会総会・学術集会 2022/04/20-4/22（大阪）
- 石川奈美子 人工乳房と併用による自家脂肪移植術の経験 第10回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会 2022/10/27-10/28（沖縄）
- 武田孝輔 高度石灰化肋軟骨を用いた隆鼻術の1例 第45回日本美容外科学会総会(JSAPS) 2022/9/22-9/23（北海道）
- 武田孝輔 Triple rhomboid flapにより乳房切除後広範囲欠損部を再建した1例 第10回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会 2022/10/27-10/28（沖縄）
- 梶川珠未 診断に難渋したコンパートメント症候群の1例 第132回関西形成外科学会学術集会 2022/11/26（大阪）
- 梶川珠未 類血管腫型線維性組織球腫の1例 第133回関西形成外科学会学術集会 2023/03/11（京都）

【研究】

- アルギン酸をもちいた人工神経の製品化（鈴木義久）

- 2 ダナン病院で実施中の脊髄損傷治療の継続とベトナム厚生省への結果提出
(鈴木義久)
- 3 中枢末梢神経軸索再生における瘢痕の抑制
(学術研究助成基金助成金 2018 年度 基盤研究 C 延長申請) (石川奈美子、鈴木義久)
- 4 磁場による神経血管再生
(石川奈美子)
- 5 四肢リンパ浮腫患者のリンパ管の再生
(石川奈美子)
- 6 磁場を用い瘢痕を制御する神経再生のメカニズムの解明
(学術研究助成基金助成金 2021 年度 基盤研究 C)
(石川奈美子)